

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

かもしか年中児クラス便り

令和5年5月16日（火）

文責：山神 寿江

進級しあつという間に5月になりました。ゴールデンウィークもあけ、日常生活が戻ってきた先週。休み明けの疲れも少し見られましたが、毎日を元気に登園してきてくれる子どもたちの姿に嬉しく思います。「お休みしたい」「行きたくない」と訴える子どもや保護者の方と離れる際に涙が流れたりすることもあります。しばらくすると気持ちを切り替え元気いっぱい遊んでいます。たくさんの葛藤を経験しながら、気持ちを切り替える、不具合を伝え乗り越える体験を積み、今以上に心も体も大きく成長できる毎日であるように努めて参ります。毎日を頑張っている子どもたちです。毎日のコミュニケーションを楽しみつつ、毎日のぎゅーを引き続きよろしくお願ひ致します。またおうちで変わった様子などありましたらお知らせください。



子どもたちの世界

～イメージの世界を楽しむ～

子どもたちの楽しみにしている月1回のお弁当の日。毎月のお弁当の準備ありがとうございます。今月は北公民館にきいちごを見つけにいきました。歩いている途中、木の根っこをが見えれている部分を発見した子どもたち。「これはねずみばあさんの仕業だよ」「おぼけかもしれない」「いやけどねずみが穴をほったのかもしれない」とイメージをどんどん膨らませています。「おーいねずみさん」「おぼけさん」と呼びかけ、「あれ？いないね」など子どもたち同士で会話でのやりとりを楽しんでいます。また「ねずみばあさんってどんな顔なんだろうね」「何色なんだろうね」と問いかけて見ると「ねずみ色してるんだよ」「ねずみばあさんにはあかちゃんもいてね・・・」など、ねずみばあさんのイメージを互いに伝えあっていました。一人ひとり異なるイメージに子どもたちのイメージ力の無限さを感じ、微笑ましい時間でした。園では、自分を自由に表現する機会を大切にしています。書いて表現する描画、聞いて、見てイメージしたことを自分の体で表現する劇遊び、など一人ひとりの子どもたちが自分らしさを十分に様々なことで発揮できる経験を大切にしていきたいと思います。今のイメージは今の時期だからこそです。今を大切に、こどもたちの園での様子などを少しでも多くお伝えしていきたいと思います。



<お知らせ>

- ・出席ノートの1ページの記入がまだな方は記入を宜しくお願ひします。
- ・自己管理に努めています。今年度かもしか組は40人と賑やかな日々を過ごしています。間違いのないようにすべての持ち物の名前を記入をお願い致します。
- ・27日は保育参観となります。日ごろの保育の様子や子どもたちの仲間同士のかかわりなどを感じて抱いたり、一緒に体験していただけたらと思います。散歩を予定しています。動きやすい格好・靴・帽子を持参いただきお子さんと一緒に登園ください。9時開始となりますので時間厳守でお願い致します。

